

# 9部

## 3月卒業者アンケート結果

2017年3月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の通信教育部での学習にご活用いただけたらと思います。

自由記述については、すべてをご紹介できませんでした。掲載できなかった「自由記述」は、通信教育部ホームページ右下「卒業生アンケート」欄から閲覧可能です。

### ●アンケートの概要

アンケートの回収状況は、社会福祉学科が144名、福祉心理学科が25名です（卒業生281名中169名、回収率60.1%）。本アンケートにご協力いただいた方の入学月は4月入学が152名、10月入学が17名であり、入学コースは1年次入学が29名、2年次編入が5名、3年次編入が135名です。

### ●アンケートの結果

- 1 通信教育部で学んだ内容や得た資格は、職場や家庭などで役立っていますか。

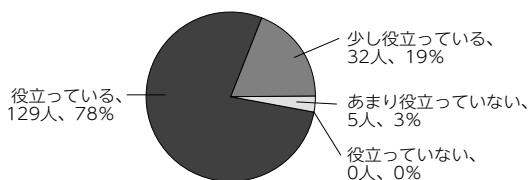


図1 学びがどの程度役立っているか (N=166)

- 2 通信教育部で学んだ内容や得た資格をどこで役立てていますか。または、今後どこで役立てていきたいですか。(複数回答)

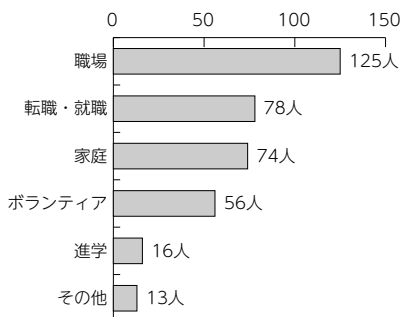


図2 学びを役立てる場 (N=362)

## 【現在役立てていること】

### ■社会福祉学科卒業者

『With』123号 p. 30、50に掲載しています。

### ■福祉心理学科卒業者

#### (全般)

- ・仕事でさまざまな人と対応していますが、自分とは考え方や感情の表し方が全く違う人がいても、受け入れることができ、また、普通では考えにくい行動や発言があっても、何か理由があるのだらうと考えることができるようになりました。
- ・家庭あるいは職場における人とのつきあい方などで、それまでの感覚的なものとは別に、心理学的視点というものを意識することで、自らを省み、周囲とのかかわりについて多角的にとらえるように心がけています。
- ・職場や家庭で、違う角度から物事を考え取捨選択する力がついた。たくさんのレポートを書いたことにより、自らの文章や他人の文章についてチェックすることができるようになった。
- ・日々の生活の中でつながりのある人の行動や発言などから、相手を理解することに役立てている。
- ・発達障がい児に対して共感的姿勢を持てるようになった。どうしたら、取り組んでくれるかと、多方面からアプローチできるようになった。

#### (仕事)

- ・スクーリングで教えていただいたカウンセリング技術を面接時に使っています。また、アセスメント時に自分の見立てがスキーマによって歪んでいないかなど考える力がつきました。
- ・職場の中で子どもやその親たちの言動を客観的に、そしてそのひとりひとりの全てをその人と思えることができるようになってきた。だからその人に対しどのように寄り添い関わっていけばよいかを考えるようになった。
- ・ヘルパーを平成28年6月より始めています。ヘルパーは総合職としてとらえ(人間全般)ていますので、学んだことが大変役立っています。

#### (地域)

- ・いのちの電話の18期生として平成28年4月より活動しています。
- ・小学校の特別支援学級で学習ボランティアを行っている。ADHD、自閉症などの子どもたちへの接し方を学んだので、現場でとても活かしている。

#### (家庭)

- ・子どもの行動や言動を、発達の一部として考えられること、適切な言葉かけが行えることなど、子育て分野でかなり役立てています。

- ・家族の中に、発達障がい+精神障がい者、高齢者、うつ症状がそれぞれいるので、とても役立っています。
- ・家庭において、子どもたちへの教育と、義母の介護に大いに役立てることができました。

## 【今後役立てていきたいこと】

### ■社会福祉学科卒業者

- ・自分の住む町で主に精神障害の方の支援に参加したいと考えていますが、働くことのできる場所も限られており、地元で看護師として働きながら情報収集や学習を兼ね、続けたいと思っています。精神障害者だけではなく様々な方が集える居場所などつくっていきけるようになりたいです。研究もしたいです。……夢は尽きません。
- ・社福士、精保士の合格後はますます専門職である自覚をもって、この新しい「生活困窮者自立支援法」の歴史を作るとともに、全国にさきがけた活動ができるようになりたいです。はじめは仕事の為と思ってはじめた学習でしたが何をしても自分自身の生活や生き方が何より大事な事に気づき、充実した時間を過ごしたいと思いました。
- ・一つはキャリアアップを図ることができれば良いと思っています。現在はデイサービスセンターの介護職員であるため、学んだ内容や得た資格を活用できるポジションにはおりません。通信教育部で学習した内容はためになるものばかりであり、さらに活かすことができるポジション、仕事に就くことができるよう、努力を続けていきます。相談員となり、信頼されるコーディネーターになりたいです。
- ・認知症介護論、高齢者福祉論、老年心理学は隣県に離れて暮らす高齢の両親のためにも受講し、学ばせていただきました。親孝行だけに限らず、大学で学ばせていただいた「福祉」への想いは、どこにいても、誰に対しても、人々の想いに寄り添えるよう、役立てていきたいと思っています。
- ・今後役立てていきたいこととして、社会福祉士の実習指導者の資格を取得し、次に繋がる社会福祉士の養成をしていきたい。まだまだ社会福祉士の認知度は低く領域も伝わらないことが多い。もっと多くの人にその存在を知っていただき、活用してもらえるような働きかけをしていきたい。また将来的には、成年後見活動、社会更生施設から出所した高齢者、障害者など、自立した生活を営むことが困難な方々への福祉的支援をしていきたい。
- ・バイステックの7原則が守れているか、多様性を尊重しているか等、自分をふりかえりたい。また、同じ職場で働く人が、おかしな対応をしているときに、根拠として冷静に説明することができるのではないかなと思う。

- ・ 学びの中で人によって異なる価値や人権が福祉では重要になると感じました。しかし、福祉特有の人材不足、それに伴う職員の業務の多忙を日々実感して働いています。その為、本来、侵してはならない事が侵されている現状を目にしています。そのような問題に働き掛ける為には具体的にはどうしたら良いのか？「利用者本位」とはなんなのか？を業務を通して日々考え、利用者や職員がいきいきと輝ける場を作り上げていきたいと思います。
- ・ 生き辛さを解消したい。

### ■福祉心理学科卒業者

- ・ 発達心理学で学んだ「人は一生発達する」との思いを胸に、特に乳児期の周囲のかかわりの大切さを学んだので、定年後、知識を生かして働けたらと考えている。いろいろな方々にヒントとなれる相談業務も行っていきたい。今後は、少しずつ学び続けながら、大学院へ進学も考えていきたいと思っています。
- ・ 個人的なこと以外、社会の中でも学んで得た知識を役立てられたらいいと思っています。
- ・ 人の心理をよく理解した行動分析とそこからの考察により関係を良好にしていきたい。
- ・ 心理学の教科書、参考書、スクーリングでのノートは事あるごとに読み返すとともに、今後も自分なりに勉強していきたいです。勉強したことを少しでも職場で役に立てたく、認定心理士の申請をしようと思っています。
- ・ 学んだ内容を活かして、今後の人間関係をいいものにしたい。また、問題を抱える人に何かできたらいいと考える。
- ・ 制度など福祉の視点とメンタルなど心理学の視点双方から物事に取り組みめるようになりたいと考えている。
- ・ 5年程仕事から離れていましたが、就職活動→4/3から仕事開始。大学で障害者福祉に興味をもち、障害者の施設に就職した。大学で得た知識を生かして、障害者への支援について役立てていきたい。
- ・ 福祉心理学科で学んだ心理学・社会福祉学を生かせるようなボランティアと週1回くらいのパートを見つけていきたいと考えている。
- ・ 子育てがおちついてからになりますが、いつか役に立てたいのでこれからも勉強したいです。

### 3 卒業後の転職・就職についてお聞きします。

1) 通信教育部で取得した資格や学んだことをいかして、転職・就職活動を行っていますか。

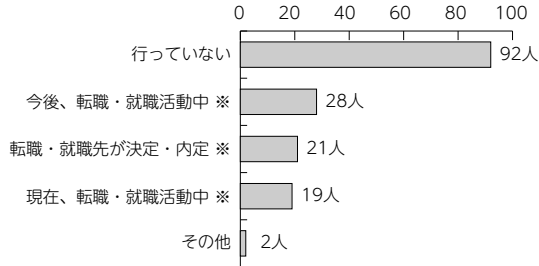


図3-1 転職・就職・職場内異動・進学状況 (N=162)

2) 転職・就職活動を行った（行っている）方にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか（得る予定ですか）。（複数回答）

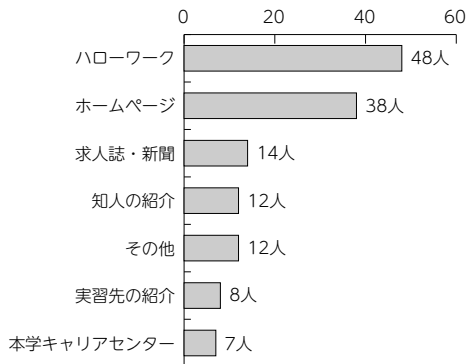


図3-2 転職・就職の情報収集先 (N=139)

#### 【具体的な転職・就職活動の結果や方法について】

『With』123号 p. 30に掲載しています。追加は下記のとおりです。

- ・企業→公務員経験者採用試験を受け、転職が決まった。2年間で、レポートをまとめる力がつき、合格することができたと思う。
- ・少し遠方の地での就職となったが、積極的に足を運んだことで良い印象を与える機会を増やし、周囲の人々からも協力を得ることができるように努めた。
- ・まずハローワークに行きました。しかし、知人が紹介してくれた職場と、自

分が携わりたい職場と一致したため、そこに就職し、採用となりました。  
 ・実習先で、ボランティアを希望したところ、アルバイトで採用されることになりました。

#### 4 学習頻度や学習時間についてお聞きします。

##### 1) 学習の頻度はだいたいどれくらいですか。

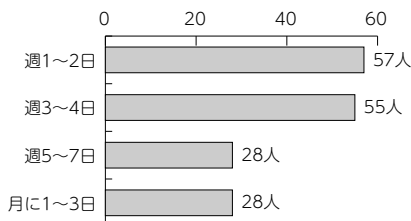


図4-1 学習の頻度 (N=168)

##### 2) 学習する日の1日の学習時間は平均してどれくらいですか。

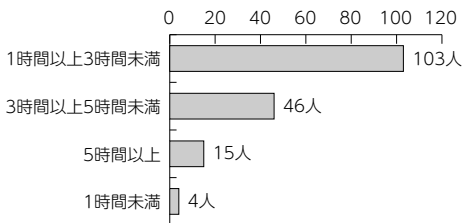


図4-2 1日の平均学習時間 (N=168)

##### 3) 1単位分のレポート(論述式のもの)が完成するまでに要する平均時間はどれくらいですか。

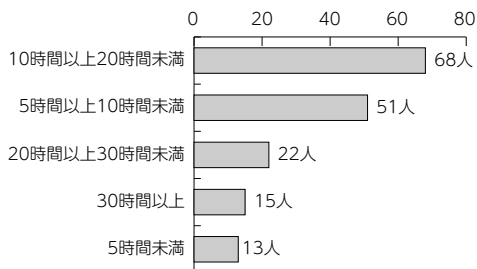


図4-3 1単位分のレポートの学習時間 (N=169)

4) 1科目の科目修了試験準備に要する平均時間はどれくらいですか。

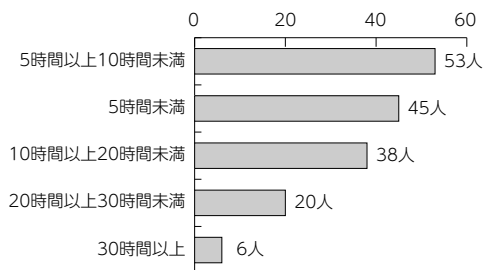


図4-4 1科目の科目終了試験の学習時間 (N=162)

5 通信教育事務部の職員の対応はいかがでしたか。

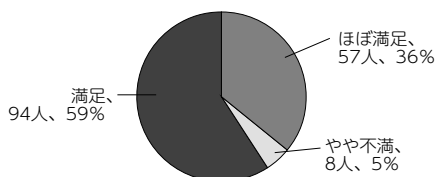


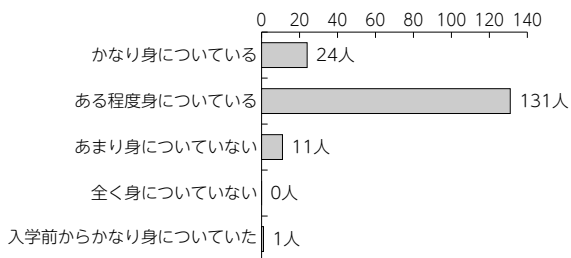
図5 職員の対応への満足度 (N=159)

6 自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びを通して現在あなた自身で身につけていると思うものについてお聞きします。(主観的な判断で、一番あてはまるもの1つに○をつけてください)

1) 知識・理解など

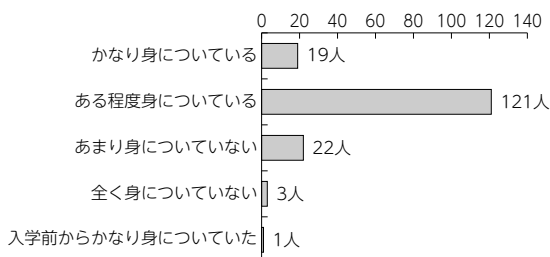
① (社会福祉学科の方) 社会福祉の意義と機能に関する基礎的知識。

(福祉心理学科の方) 人の思考・感情・行動の原理や法則、理論について説明できる心理学の基礎的知識。



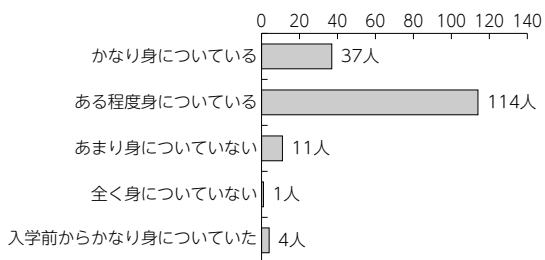


②さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的な問題への支援に利用できるなど現場でいかせる実践的知識。

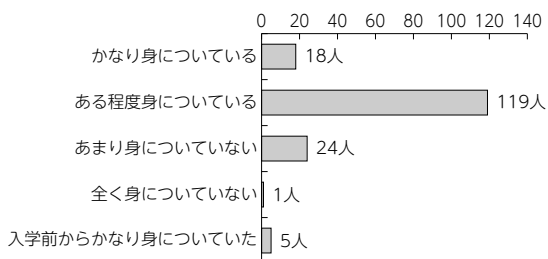


## 2) 汎用的技能など

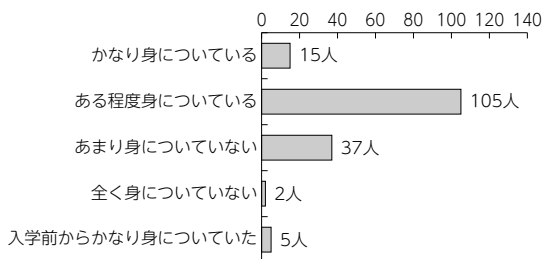
③多様な価値観を理解し、自己とは異なる意見や考え方をもち人々とコミュニケーションをとる力。



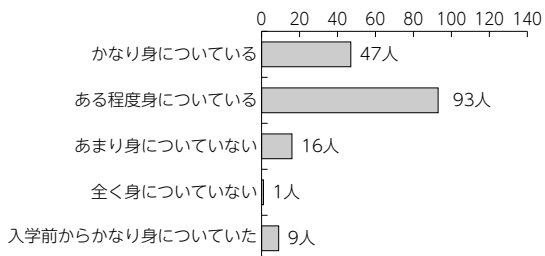
④求められるレポートや課題の趣旨を理解し、必要な情報を精査・選択し、わかりやすい文章や言葉で他者に伝える力。



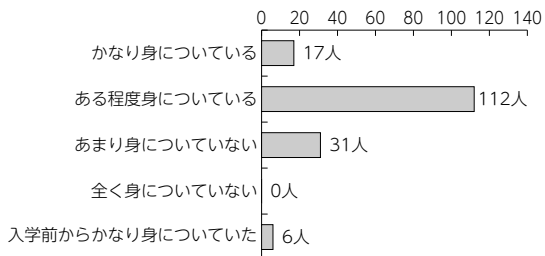
⑤根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力。



⑥参考図書やインターネットなどを用いて必要な情報を収集する力。

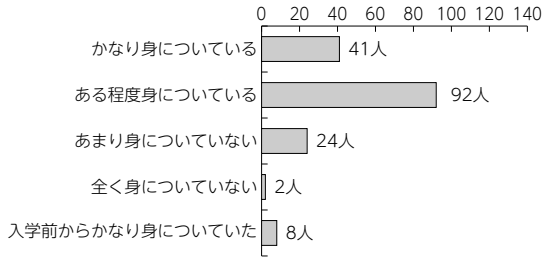


⑦自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力。

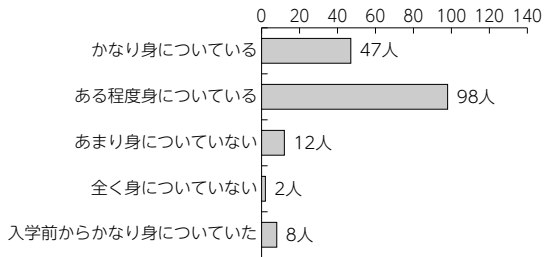


### 3) 態度・志向性など

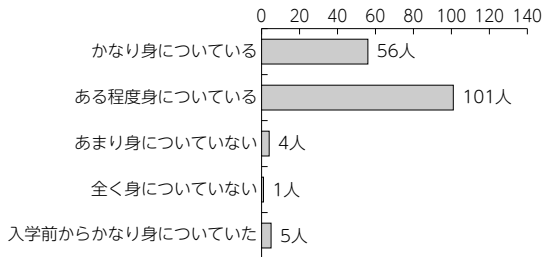
⑧時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力。



⑨他者に配慮しながら、目標と問題を共有したり、協調・協同して行動できる力。



⑩人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢。



⑩所属学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力。

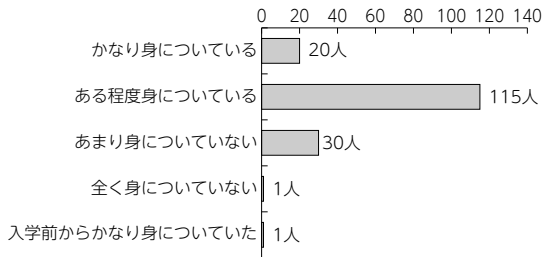


図6⑩～⑪ 学士力達成度合いの自己評定 (N=164~167)

7 あなたは東北福祉大学通信教育部で学んで満足できましたか。

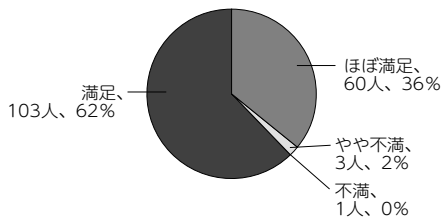


図7 総合的な満足度 (N=167)

【本学で学んだ感想、通信教育部に対するご意見・ご要望、在学生へのメッセージなど】

■社会福祉学科卒業生

『With』123号 p. 12、18に掲載しています。追加は下記のとおりです。

●充実感と達成感

- ・途中は本当にやる気が出なくてももう辞めてしまおうかと思ったことが何度もありました。目標があれば最後の最後で「やらなきゃ！」とやる気が湧いて頑張れると思います。
- ・子育てと、仕事を持っている私でも卒業することができました。在学生の皆さんも、入学時の志を大切に、家庭、仕事、お体に無理なく学びを深め、目標を達成していただきたいと思います。

●通信教育部での学び

- ・大学の学習というのは、記憶すればいいというものではなく、得た知識に対して自分はどう考えるのかということが重要だと思います。このポイントを

つかめるとレポートも書き易くなるのではないのでしょうか。

- ・素晴らしい先生方が多く、楽しく学ぶことができました。仕事で悩んだり迷ったりしていても、スクーリングを受けることで、大切な基本を思い出し、生かしていくこともできました。
- ・入学時の目標の「実習をして2年間で卒業」ができました。スクーリングやレポートを通して、先生方のおかげでやる気が湧いてきたこと、同じ目標を持った友達の存在が大きかったと思います。
- ・入学して2年、働きながらだったため、レポートなど日常生活の中で、大変ではあったが、まとめる力など身に付いたと感じました。毎日通勤電車の中+会社の休憩時間など効率よくできたと思う。社会福祉士も無事合格し、2年間、レポートやスクーリングを頑張ってきたと思います。
- ・業務上、時間が限られている私にとって、オンデマンドでのスクーリングは、大変有効なものでした。

## ■福祉心理学科卒業生

### ●学ぶことの喜び

- ・自ら心理学を学びたくて勉強していくことで、充実感が持てました。
- ・心理学のいくつかの科目のレポートは自分で問題を設定し、考えて、言葉にするとという内容で、悩みましたが、悩んだ分、レポートを書く作業が充実してとても面白かったです。各レポートの先生方から頂いた言葉に一喜一憂しましたが、各課題を通して自分自身と周囲の人々との関係をみつめられたことで、新たな発見もありました。
- ・学ぶことは年齢に関係なく楽しく、気持ちの上がっているときは、次の課題、次の課題と、どんどん取り組めますが、一旦、何らかの事情で時間や心の余裕がなくなり、取り組めなくなると、通信教育というのは本当になかなか進みにくくなります。学ぶことは楽しく、その楽しみを謳歌するところが大学です。その期間が長くても短くても、自分が「楽しい」と思えば、幸せな大学生活だと思えます。
- ・学びたかった分野であった心理学という学問にふれることができた。体験は何事にも代えられず、素晴らしい2年間となりました。特に発達心理学という学問について、「これだ」というように自分のやりたかったことと合致しました。社会人に「学ぶ機会を与えてくださった」ことに改めて感謝いたします。
- ・高卒ですぐ職に就いたのですが、大学にすぐ行かなくて良かったと思えました。学ぶ気持ちが出てからでも遅くないと思えます。
- ・ある程度の社会・現場経験をしながらの学習は、より深く理解できると共に

驚きもありました。達成感はいくつになっても嬉しく力になりました。

- ・世の中には「知らない」ことがたくさんあり、その理論や知識がたくさんあることに気づき「知らない」ことを「知る」ことは本当に楽しかったですし、私の財産となりました。ありがとうございました。そんな私の姿を見ていた娘が今春より通学生として入学いたします。

### ●諦めず計画的に頑張る

- ・働きながら学ぶことは時間管理に泣かされましたが、学びと実践がつながることも多く豊かな時間となりました。
- ・在学生の皆様、焦ってしまうこともあるかもしれませんがどうか自分のペースでゴール（卒業）まで頑張ってください。
- ・個性あふれ熱意に満ちた先生方の講義はどれも有意義なものであり糧となっています。共に学ぶ学生の方も皆熱心な方ばかりでした。「通信での学習は孤独である」とはよく言われますが、モチベーション次第で充実感を得ることは十分に可能だと思います。
- ・在学満了期限一杯までかかってしまい、全然単位修得が進まない年もありました。けれども、あきらめずに、ラストスパートをかけて、レポートやスクーリングに取り組み、なんとかかかんとかではありますが卒業することができて良かったです。集中して取り組むことが、とにかく必要だったと最後の2年位の間で強く感じました。とにかく「取り組んでみること」です。
- ・通信教育では、自分との闘いでもあり、いかに時間を作るかが大切であると実感しました。途中で、自分自身のケガや両親の入院・介護が始まり、卒業まで長期間かかりましたが、達成感があります。
- ・通信教育は自分自身の気持ちと折合いをつけながらの学習でした。途中で辞めようかと考えたこともありましたが、スクーリング（オンデマンドも含む）で学ぶことは面白く、学生同士のコミュニケーションも刺激的でした。くじけそうな時も、レポートの添削で諸先生方のコメントに励まされました。
- ・リズム良く、学習する日時を決めて、継続的に取り組もうという気持ちがあると早く卒業できる。もしも途中で途切れても自分のペースで復活できるのが通信教育の良い所でもあります。諦めずにいたら、きっと必ず卒業できるので、皆さん頑張ってください。
- ・通信教育は自分との戦いであると思いました。諦めたら先には進まず、先ず自分の目標をしっかり定め、しっかりと学習計画を企て一歩ずつ着実に積み重ねていくことだと思います。
- ・レポートはやらないままだと「あっという間」に時間が過ぎていくため、少しでもやるのが大事。

## スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●福祉と経済 小松 洋吉

- ・福祉と経済それぞれを細かく分析することで、お互いが密接にかかわりあっていることがよくわかりました。
- ・福祉が経済のなかにあって影響を受けること、福祉をよくしないと経済がよくなるということがわかった。
- ・どうすれば公正な安定した生活になるのかなど考えるきっかけになった。
- ・基礎的な考え方や計算方法を、わかりやすく何度も説明してくださったので、よかった。理解できない部分は、自分の基礎的教養力のなさを実感した。

### ●福祉経営論（福祉施設管理論） 高橋 誠一

- ・働いている社会福祉法人において日ごろ疑問に思っていたことが、一般企業にはない福祉法制度との兼ね合いによる業界独自のもので、今後も政策と共に変化していくものだということがよく理解できた。
- ・最近転職で小規模な事務局を運営することになり、組織運営の方法について悩んでいたので、とても参考になりました。
- ・人材育成において、ケアする思いやりのある言動が大切なのだとあらためて福祉の視点を考えさせられた。
- ・利用者中心の組織か働く介護者中心の組織かという考え方が興味深かった。
- ・自分の職場の強み弱みをSWOT分析で考えてみたいと思った。

### ●福祉行財政と福祉計画（福祉計画法） 佐藤 英仁

- ・平成29年度版の新しいデータを用いながらの講義で、実践につなげやすく、現場でも活用できると思うので良かったと思います。専門用語も理解しやすいように説明していただけたので頭に入ってきやすかったです。
- ・市町村福祉計画は住民ありきの計画であると理解できたとし、自分の住んでいる所に関心を持つことができた。県単位の問題も考えたいと思った。

### ●社会福祉援助技術実習指導B-1+演習C-1 三浦 剛

- ・制服の話の時に、高齢者施設の利用者は24時間同じ服装を見るのは楽しくないという先生の考えにハッとさせられた。相手の立場に立つということをもっと深い視点で考えなくてはいけないと思った。

## スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●精神医学 高野毅久・滝井泰孝・西尾雅明

- ・医学の薬は現在対症療法でしかなく、薬だけではどうにもならないと思ったので、精神療法を活用していく必要性を感じた。それに伴い、医師だけではない他の職種（PSWなど）の必要性を感じた。
- ・福祉心理学科なので、心理士目線での講義は多数受講しましたが、今回ドクターからの精神医学の講義や、ドクター目線の患者さんの捉え方を聞いたのはよかった。
- ・精神障害についての学問的な理解を深めたことがなく、今回はとても整理ができた。特に精神障害の成因の部分はわかりやすく理解することができた。統合失調症への偏見、神経症との混合等、自分のイメージだけで捉えていたことに気づかされた。
- ・実際に病気を患われた仙台スピーカーズビューローのお2人に、体験談としてお話しいただいたのがとても心に残りました。「急性期がずっと続くわけではない」「周りの人には元々の関係をそのまま継続して欲しい（支援ではなく）」「病気であっても自分が自分で決めて生きているという主体性が一番大切」という言葉が印象的でした。
- ・せんだんホスピタルのPSWの方のお話は、実際の業務内容の他に自分自身を客観的に見ることが大切であるということも聞くことができ、今後の参考になりました。

### ●特講・福祉心理学4(スクールカウンセリング) 中村 恵子

- ・チーム支援、機能不全に陥らない支援づくりが不登校対策には必要で、日本ではまだまだ行き届いているとはいえないと思いました。
- ・自分だったら不登校の子どもやその状況にどう対応するだろう？と常に自分に問いかけながら授業に参加することができました。
- ・今までの自分の支援経験をベースに考えられた。現場のすくスクールカウンセラーとして、他職種とどのように協働していたかやその際のスタンスなど、現実的なところをもっと聞きたくなった。
- ・ピアカウンセリングはとても重要な役割もっていると思った。支援の中でどう取り入れていくかも今後考え学んでいきたい。スクールカウンセラーにはユーモアも大事ですね。困難を盛り越えるために。
- ・発達課題の重要性と、課題の達成の有無が今後の人生を左右することを思い、それに気づきサポートしてあげることができる人間になりたいと思った。

### ●精神保健福祉援助演習C-1+実習指導B-1 志村祐子

- ・実習に向けたレディネス(予備知識、技術、心構え)がまだまだ不足していることを痛感した。実習までの残された期間に、今までの学びを振り返り整理して臨もうと改めて思った。
- ・先生のクライアントとのかけ引きに感動しました。